

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

世帯と人口

(4月1日現在)

世帯 45,098 (+119)

人口 120,220人 (-46)

男 61,254人 (-8)

女 58,966人 (-38)

広報 **えびな**

休耕田に揚がるこいのぼりのほり。写真に収まらないほどたくさんの方が。



えびな模様

「優しさ」で舞うこいのぼり

薫風の休耕田に「勢ぞろい」

黄色い菜の花と楽しそうな親子連れを真下に見ながら、色とりどりのこいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。これは、大谷自治会第4町内会の親睦会のみなさんが同市内の休耕田に揚げていたもので、こいのぼりの数は60近く。柱立てやロープ張りなどの作業も、親睦会会員の手で行われました。

住民同士の交流を深めることが目的の同親睦会。会員の間から『場所がない』『出し入れが面倒』と、多くの家でこいのぼりがずっとしまわれたままであるという話が出たのは、今から2年前のことでした。

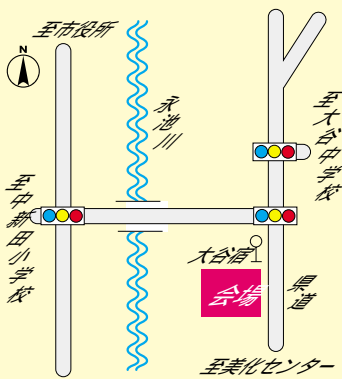
寄贈しようという話もありましたが、「めでたい日のため生まれたこいのぼり。よそにやるくらいなら地元で思い切り泳がせてやろう」という同会代表・小島日出生さん(61歳)の提案で、毎年この時期恒例の「こいのぼり勢ぞろい」が始まったそうです。

こいのぼりの中には、長さ10メートル以上になる「大物」が多数あります。「通行中の方が思わず足を止めたり、カメラで撮影したり…住宅事情の影響で目にする機会が少ないせいか、子どもたちもとても喜んでいきます」と小島さん。

一方で、「年代物」のため強風で破れて使えなくなったものも多いとか。しかし、「勢ぞろい」を見た方々から「うちのこいのぼりも使ってください」という申し出が相次いだため、こいのぼりの数は逆に増え続け、現在200近い数を同会で保管しているそうです。小島さんは、「こともの日までに揚げる数を増やし、できれば90くらいは泳がせたい」と意気込みを話しています。

使えなくなったこいのぼりはどうするのか小島さんに尋ねると、「使えないのはさへ、『祝い事を彩る』という自らの使命を全うした、ということですよ。だから、大谷の観音堂にこいのぼりたちの供養塔を建立したんです」。休耕田のこいのぼりが元気に泳ぐのは、青い空と心地よい薫風だけでなく、こうした人々の優しさが込められているせいかもしれません。

案内図



- ◎こいのぼりは5月5日(祝)まで揚げています。
- ◎周辺に駐車場はありません。お車での来場はご遠慮ください。